

平成 30 年度医療介護連携に係るアンケート調査結果

平成 30 年 4 月分

全体 81/85 回収率 95%
 居宅介護支援事業所 66/70 回収率 94%
 地域包括支援センター 15/15 回収率 100%
 回答数 ケアマネ 205 名 地域包括ケース担当者 65 名

1 担当ケース数 総数 8,455 件

	介護	予防	合計
居宅介護支援事業所	5,162	860	6,022
地域包括支援センター	46	2,387	2,433
合計	5,208	3,247	8,455

平成 30 年 4 月

鳥取県西部圏域退院調整率

92%

(27 年度調整率 76%)
 (28 年度調整率 87%)
 (29 年度調整率 87%)

2 担当ケースのうち平成 30 年 4 月中に病院から退院したケース数

	介護	予防	合計
居宅介護支援事業所	150	22	172
地域包括支援センター	0	50	50
合計	150	72	222

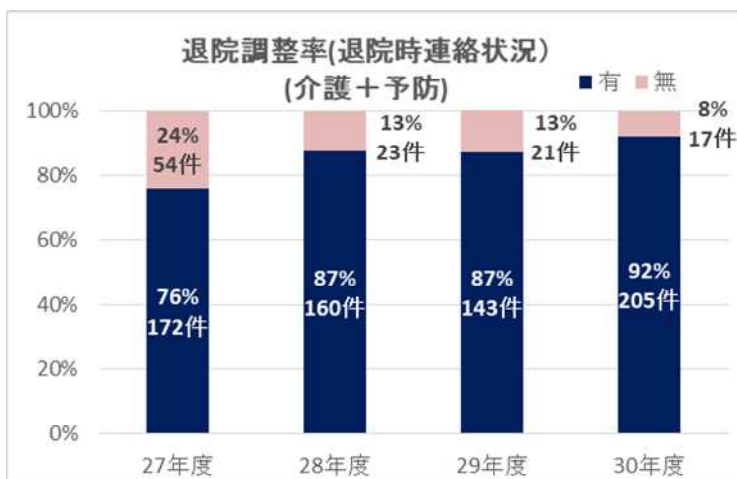
3 アンケート調査結果のまとめ（退院調整率）

- ・平成 30 年 4 月中に退院したケース数は 222 件で、平成 29 年 4 月の 164 件と比べて約 1.4 倍に増加となっている。
- ・調査時点における居宅介護事業所のケース担当数も多くなっている。
- ・平成 30 年度の退院調整率は 92%と、29 年度の 87%から更に改善しており、病院と介護の連携が、さらにとれてきている。
- ・4 月中に退院者のあった 16 病院のうち、退院調整率が 80%以上の病院は 15 機関で増。各病院の退院調整率も改善したところが多く、入退院調整ルールが定着してきた。また、入退院調整率が 80%に到達しなかった病院もあったが、調整ルール運用開始時から改善している。
- ・対象件数が少ない病院では、母数が少なくなるために 1 件でも大きく率に影響を及ぼす。
- ・退院時の情報提供書の送付については、入退院調整ルールに特に定めはないが、送付された件数の送付が 184 件と平成 29 年度の 1.5 倍に、送付率も 83%と増加している。
- ・退院に係る連絡状況について、介護では 96.6%とほぼ退院時に連絡がされている。予防については、83%でやや介護に比べると低下している。
- ・今年度の高い連携率については、平成 30 年度の介護報酬や診療報酬の改定の影響も少なからず要因の一つと考えられる。

1) 退院時に係る連絡状況

退院時連絡件数

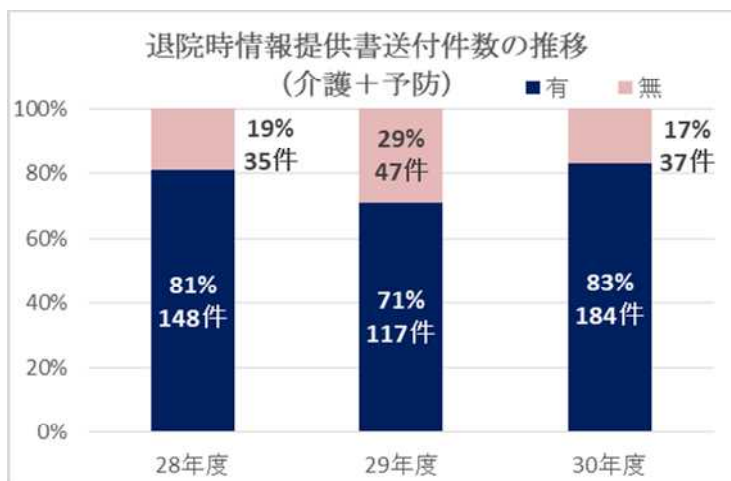
	介護+予防	介護	予防
27 連絡有	172	125	47
連絡無	54	41	13
28 連絡有	160	125	35
連絡無	23	12	11
29 連絡有	143	105	38
連絡無	21	12	9
30 連絡有	205	144	61
連絡無	17	5	12



2) 退院時に係る医療機関からの情報提供書送付状況

退院時情報提供書送付件数

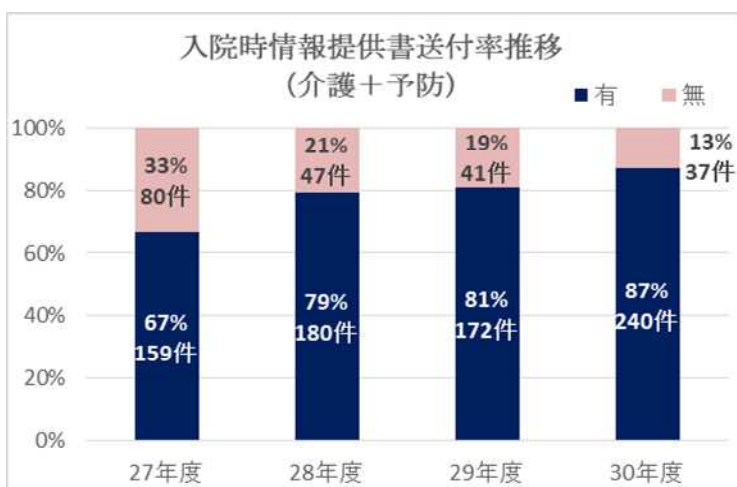
	介護+予防	介護	予防
28 送付有	148	122	26
送付無	35	15	20
29 送付有	117	89	28
送付無	47	28	19
30 送付有	184	125	59
送付無	37	24	13



3) 入院時に係る医療機関への情報提供書送付状況

入院時情報提供書送付件数

	介護+予防	介護	予防
27 送付有	159	136	23
送付無	80	56	24
28 送付有	180	147	33
送付無	47	26	21
29 送付有	172	126	46
送付無	41	29	12
30 送付有	240	182	58
送付無	37	16	21



4 連携上の問題の有無

- ・連携上の問題の有無については、平成27年度は「問題あり」が134件と半数を占めていたが、年々改善し、平成30年度は「問題なし」が73%となり、大きく改善されている。
- ・「問題あり」の内容については、「連絡が遅れた、遅かった」等の連絡の遅れに関するものが依然多かった。

連携上の問題

	27年度	28年度	29年度	30年度
有	134	60	45	61
無	134	133	148	167

